

足利流5S現地視察会

－ 5Sのまち、足利市で、5S指導者鈴木代表に学ぶ－

北海道立総合研究機構では、「足利流5S」を導入している企業への現地視察会（栃木県足利市）を開催いたします。足利市では、製造業をはじめ多くの企業で5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動が行われております。

今回は、「現場」「現物」「現実」の観点から現地へ赴き、「足利流5S」を体得してきたいと思っております。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております！

日時 令和2年 1月27日（月）～ 28日（火）

対象 道内ものづくり企業 ほか 5Sに興味がある企業

内容 足利流5Sに取り組んでいる企業（2社）を視察
（懇親会場、昼食会場も5Sに取り組んでいます）

費用 各自負担（参加費 約13,000円（現地交通費、懇親会費、見学企業参加費、2日目昼食代）+ 現地までの交通費、宿泊費 等）

定員 20名程度（1社2名まで）

一部、足利流5S
指導者・鈴木代表ら
によるアテンド付き！

行 程（予定） ※私鉄・足利市駅 集合・解散

令和2年1月27日（月） 鈴木代表によるアテンド付き

新千歳空港8：00～（航空機）～羽田空港9：30～（鉄道）～足利市13：00

13：30～15：30 足利印刷（株）視察

15：45～16：30 足利5S学校見学

17：00～19：00 懇親会（あしかがフラワーパーク予定）

令和2年1月28日（火） 一部、足利商工会議所職員によるアテンド付き

10：00～11：50（株）石井機械製作所 視察

12：00～13：00 昼食（大麦工房口ア）

足利市14：00～（鉄道）～羽田空港17：30～（航空機）～新千歳空港19：00



鈴木5Sコンサルティング 代表
鈴木 浩也（すずき ひろや）氏

足 利 流 5 S と は

栃木県足利市は2003年以降、まち全体で業種の垣根を越えた5S実践活動の普及や、人材育成など数々の取り組みを実施しており、「5Sのまち」として有名な地域。

この地域が育んだ5Sの精神は、「足利流5S」と称され、国内外から大きな注目を浴びている。現在では、海外からも視察団が訪れるほか、2012年からは「世界5Sサミット」が複数回開催されるなど、活動の幅が広がってきている。

- 足利流5Sの骨子
「働く人たちのために」①現場主義
「真理を追究する」②5Sでは期限を切らない
③不要な資料は作らない
⇒一人一人の仕事を、④実態を表せない採点をしない
5Sを通じて本物志向⑤指摘ではなくヒント
のことに。⑥他人事ではなく自分事
⑦整理⇒清掃⇒（整列）⇒整頓の順序
⑧本質は3S
⑨間違いを許す（安全と品質は慎重に）
⑩5Sに関してはオープンに
- 足利流5S'10箇条'
①現場主義
②5Sでは期限を切らない
③不要な資料は作らない
④実態を表せない採点をしない
⑤指摘ではなくヒント
⑥他人事ではなく自分事
⑦整理⇒清掃⇒（整列）⇒整頓の順序
⑧本質は3S
⑨間違いを許す（安全と品質は慎重に）
⑩5Sに関してはオープンに

参考：足利商工会議所内「足利5S学校」HP

このセミナーは、地域活性化雇用創造プロジェクト事業の一環として北海道から委託を受けて実施されます。ご参加いただいた企業の皆様には、セミナー参加後の雇用面での取組や雇用実績などの調査をお願いしております。（地プロHP⇒）



足利流 5S現地視察会 参加申込書

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター 中村 宛

FAXまたはメールでお申し込みください。 **申込締切日：12/25(水)**

- ◆FAXでお申し込みの場合…下記に記載の上、このままFAXしてください。
【FAX番号：011-726-4057】
- ◆メールでお申し込みの場合…企業名・住所・電話・FAX・E-mail・参加者の所属・職・氏名を記載の上、送信してください。
【E-mailアドレス：kaihatsu@hro.or.jp】
- ◆参加者には、別途詳細の行程をご案内いたします。

企業名 (機関名)			
住所	〒		
電話		FAX	
E-mail			
参加者	所属	職	氏名

■ 申込み・問い合わせ先 ■

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術研究本部ものづくり支援センター（担当：中村）
〒060-0819 札幌市北区北19条西11丁目
電話：011-747-2324（直通）／FAX：011-726-4057／E-mail：kaihatsu@hro.or.jp



足利印刷(株)(視察予定)



あしががフラワーパーク(懇親会会場予定)
「日本三大イルミネーション」